

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

測定年度	令和6年度	学校コード	F113310103689	設置等組織名	健康スポーツ科学部（健康スポーツ科学科）
大学名	豊城聖大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	東京	事業計画名	DXを通して健康スポーツ社会を実現する「豊城聖大学健康スポーツ科学部」設置計画

1.年度別の計画及び実施状況

年度別の事業計画と実施状況、自己評価を記載してください。
当初計画が変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	実施状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	1-① 令和6年8月 民間企業、近隣自治体と新学部設置構想に関して教育研究活動や地域貢献の観点から協議 1-② 令和6年8月 近隣の高等学校と連携協定締結に向けた協議 1-③ 令和6年9月 受容性（入学意向、人材需要）調査用パンフレット作成 1-④ 令和6年10月～11月 受容性（入学意向、人材需要）調査実施	1-① 令和6年8月～令和7年3月 民間企業、近隣自治体と17高等学校と新学部設置構想に関して教育研究活動や地域貢献の観点から協議 1-② 令和6年8月～令和7年3月 近隣の高等学校と連携協定締結に向けた協議 1-③ 令和6年9月 受容性（入学意向、人材需要）調査用パンフレット作成 1-④ 令和6年10月～令和7年1月 受容性（入学意向、人材需要）調査実施	令和6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和7年度	1後-⑥ 令和7年4月～令和8年3月 新学部申請中及び設置認可後の各種媒体を通じた広報活動（R8.2.20承認） 1後-⑦ 令和7年5月～令和7年9月 募集広報パンフレット作成（月次更新）（R8.2.20承認） 1後-⑧ 令和7年6月～令和7年7月 学部紹介イメージ動画制作（R8.2.20承認） 1後-⑨ 令和7年7月～令和8年3月 オープンキャンパスや模擬授業・実習体験（SD）（R8.2.20承認） 1後-⑩ 令和7年12月 新学部担当専任職員（数学科）補助者の雇用（令和8年3月まで） 1後-⑥ 令和7年4月～健康スポーツ科学部特設サイト開設（R8.2.20承認） 1後-⑦ 令和7年5月～広告制作（各専任）（R8.2.20承認） 1後-⑧ 令和7年6月～募集広報パンフレット作成（R8.2.20承認） 1後-⑨ 令和7年9月～DM発送（R8.2.20承認） 1後-⑩ 令和8年3月～新開校式制作（R8.2.20承認）	1後-⑥ 令和7年4月～令和8年3月 新学部申請中及び設置認可後の各種媒体を通じた広報活動 1後-⑦ 令和7年5月～令和7年9月 募集広報パンフレット作成（月次更新） 1後-⑧ 令和7年6月～令和7年7月 学部紹介イメージ動画制作 1後-⑨ 令和7年7月～令和8年3月 オープンキャンパスや模擬授業・実習体験（SD） 1後-⑩ 令和8年2月 新学部担当専任職員（数学科）補助者の雇用（令和8年3月まで）	令和7年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和8年度	2後-① 令和8年4月 実験実習棟建設 3-① 令和8年4月 新学部担当専任職員（数学科）補助者の雇用（令和12年3月まで） 3-② 令和8年5月 入試広報用パンフレット作成 3-③ 令和8年6月 開設記念講演会 2後-② 令和8年12月 実験実習設備 納入 3-④ 令和9年2月 企業等との協議会 2後-③ 令和9年3月 実験実習棟 竣工 3-⑤ 令和9年3月 授業運営用PC、プリンター購入		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	3-⑥ 令和9年5月 入試広報用パンフレット作成（実験実習棟紹介） 3-⑦ 令和10年2月 企業等との協議会		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	3-⑧ 令和11年2月 企業等との協議会		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	3-⑨ 令和12年2月 企業等との協議会		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和7年3月 健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科 設置認可申請予定	令和7年3月 健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科 設置認可申請		
定員減又は学部等の廃止				

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	亜細亜大学
-------------	-------	-----	-------

2.申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□
- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育がキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
- ④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
- ⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
- ⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
- ⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
- ⑨ 事業計画の進定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
- ⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80％を満たす計画であること。
- ⑪ フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5％を上乗せた水準以上とする計画であること。
- ⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
- ⑬ 選定された大学は、公署要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
- ⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、 令和7年度 の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

※⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件※について	現在の状況
※文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査事項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
令和元（2019）年度から、総合スポーツメーカーであるミズノ株式会社による寄附講座「スポーツ特別講義」を開催し、同社の取り組みやスポーツ産業の現状や課題、そして様々な健康スポーツ業界で活躍されている講師を招き、本学受講生たちはこの分野において社会が求めている人材等について学修してきた。フェーズ1では、この科目や他の基礎科目の学修を踏まえて、東急グループ企業や、スポーツ推進に関心のある上述の地元企業などの協力を仰ぎながら、スポーツを通じた心身の健康向上や地域社会のコミュニティ作りに貢献している現場を実感しレベルで経験する「健康スポーツインターンシップ」が展開できるよう検討を進めていく。 また、本学は武蔵野市、東久留米市、三鷹市、小金井市、日の出町と包括連携協定を締結している。例えば、武蔵野市の寄附講座で「現代教養特講」を開催し、市民と一緒に授業に参加している。また、東久留米市との間では、官高大連携事業として高校の「総合的な探究の時間」の支援に本学教職課程等を履修する学生が参加している。このように、既にこれら自治体と連携した様々な事業を実施しているが、フェーズ1ではこの協定を活用して、「健康スポーツインターンシップ」が座学等で学んだ新たな知識や技能の実践の場となるように、各自自治体と締結内容に基づいた協議を進める予定である。	健康スポーツ科学部開設科目「健康スポーツインターンシップ」の展開に備え、実習受け入れ先である東急グループの東急スポーツシステム株式会社と引き続き協議を重ね、開講初年度となる令和10（2028）年度までに協定締結を含めた開講準備を完了できるよう、連携体制の構築を順調に進めている。 同時に、健康スポーツ科学部開設科目「健康スポーツボランティア活動」の受け入れ先である、アリーナ立川立飛を本拠地とするBリーグチーム「立川タイス」を運営する株式会社多摩スポーツクラブとも協議を重ね、実践機会の創出に向けて取り組んだ。 その他、自治体との連携に関しても、本学キャンパスが所在する武蔵野市、日の出町を中心に健康スポーツ科学部の開設に向けた協議を重ね、健康増進やコミュニティ活性化に関するコースと、本学の教育リソースを効果的に結びつけるための具体的な連携方策について調整を進めた。 今後引き続き、これらの連携をさらに発展させ、学生の受け入れ先を確保するとともに、企業や自治体の課題に基づいたより実質的な内容を経験できる科目を開講するための体制整備を進めていく。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a.入学者選抜における科目の見直し
- チェック b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
理系学部における女子比率は依然として低く、また、既存の「健康スポーツ系学部」においても、大学ではおよそ7：3程度で男子比率が高い。本来、学問分野に男女の向き不向きはなく、健康スポーツ科学分野においても男女による学修内容に違いはないことから、フェーズ1では積極的に女子学生の比率を上げるための対策について検討していく。具体的には、入学を考えている女子高校生に対して学びたい内容や学びやすい仕組みを調査したり、女子に限定した募集などが考えられる。さらに、男女の教育機会ができるだけ均等になるように奨学金制度の見直しをするなど、優秀な女子学生の確保についても検討していく。 地域の初等中等教育段階の学校との連携は、現時点でも多くの出張授業を実施したり、各種スポーツ・文化教室（野球、陸上、テニス、剣道、セパクロー、吹奏楽等）を本学のキャンパスあるいは現地に外出して実施している。フェーズ1では、健康スポーツ事業を科学の視点で学ぶことについて、初等中等教育機関の現場の教員や児童・生徒から意見を伺う機会を設ける予定である。また、キャンパスに来てもらうことで、新設した最新の実験実習棟と科学技術を活用しながら、健康スポーツ科学を体感して楽しみながら学ぶ教育連携事業を実施する計画を立てている。	学部設置認可申請の際に実施した需要性調査の結果等を踏まえ、優秀な女子学生の確保に向けて、令和8（2026）年度入試で「総合型選抜入試（女性人材育成型）」を実施し、募集人員3名に対して12名の志願者を得た。 地域の初等中等教育段階の学校との連携については、高大連携協定を締結した岩倉高等学校及び堀越高等学校をはじめ、引き続き出張授業等の展開を継続し、体系的な高大接続を推進した。 また、令和9（2027）年度竣工予定の実験実習棟の建築計画を引き続き推進するとともに、特設サイト～学部紹介動画・実験実習棟3DCG動画の制作・公開を通して、最新の科学技術を活用した学びを実現できる教育連携事業について周知を強化した。直接志願者等と接する機会となるオープンキャンパスでは、授業で導入予定の映像分析アプリやVRゴーグルの体験ブースを設置し、来場者に対して健康スポーツ科学部の学びについて体験する機会を提供した。	

大学名	亜細亜大学
-----	-------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	亜細亜大学
-----	-------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,530	1,530	1,630																
		入学者数	人	1,540	1,760	1,924																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,530	1,530	1,630																
		入学者数(B)	人	1,540	1,760	1,924																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.01	1.15	1.18																
	収容定員等	収容定員(C)	人	6,100	6,125	6,170																
		編入学定員	人	30	30	30																
		在籍者数(D)	人	6,492	6,691	7,059																
		編入学者数	人	28	21	28																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.09	1.14																

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況			申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	選定		開設											
項目		単位																			
外部資金獲得額		千円	310,642	219,989	277,370	81,110	117,162	257,594	196,230												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金 獲得額のうち最大額及び最小額を除いた 残り3年分の平均）(E)	千円	204,840
本事業による助成金の額 (F)	千円	556,950
フェーズ3の助成期間終了時まで達成す る額(E+F×2.5%)	千円	218,764

特記事項